

令和7年10回大仙市教育委員会定例会議事録

令和7年第10回大仙市教育委員会定例会を令和7年10月24日(金)午後3時30分から大曲庁舎3階大会議室において開催した。

出席者

教育長	伊藤 雅己
委員	小笠原 晃
	伊藤 勝良
	高橋 緑

説明員	事務局長	佐々木 泰宏
	次長兼教育総務課長	小松 大
	次長兼教育指導課長	菅原 清三
	施設管理課長	高橋 隆伸
	学校給食総合センター所長	佐藤 マキ
	次長兼生涯学習課長	八嶋 洋晃
	次長兼総合図書館長	伊藤 ひろみ
	次長兼総合市民会館長	品川 雄喜
	参事兼教育研究所長	牛木 豊
	花館公民館長	枝川 元
	神岡中央公民館長	大野 曜佳
	大綱交流館長	遠藤 隆伸
	中仙公民館長	大坂 文博
	協和公民館長	阿部 成吾
	南外公民館長	堀井 みわ子
	仙北公民館長	竹村 智子
	太田公民館長	太田 敬

書記 教育総務課参事 大釜 弘靖

付議案件 なし

伊藤教育長

皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、玉井委員と伊藤晴通委員から欠席の御連絡が入っております。定足数は満たしておりますので、会議は成立いたします。書記に、大釜参事を指名します。

ただいまから、令和7年、第10回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

朝夕はもとより日中も肌寒さを感じる季節を迎えました。感染症については、大きな拡大の報告はなく、学習発表会をはじめとする学校の教育活動や公民館事業、各地域のイベントも順調に行われております。

それでは、報告の1ページをご覧ください。

最初に学校教育関係です。2学期制をしいている本市の小中学校は、前期が終了し後期がスタートしております。今月末から教育委員会訪問を再開し、今月は11校の訪問を予定しております。委員の皆様の御協力をよろしくお願ひいたします。

特色ある教育活動では、資料の通り、記念式典、イベントに出席しております。

研修につきましては、記載の通りです。大仙市、仙北市、美郷町の小中学校に勤務する教職員が各学校に分かれて、道徳や特別活動などに関する研究会を開催しております。

県外からの視察については、記載の通りです。

社会教育関係では、大仙アカデミーに出席しております。武蔵大学の庄司昌彦教授から、「AIと関係人口から考える地域のデジタルトランスフォーメーション」と題して講演いただきました。人口減少、少子高齢化社会を乗り切るために、ICTや関係人口等の視点からの対応が求められていることを強く感じたところです。

市長部局等との連携行事については、記載の通り出席しております。全国高等学校総合文化祭は、高校生による国内最大規模の芸術文化活動の祭典で、文化部のインターハイとも言われる一大イベントで、来年度、本県で開催予定となっております。10月11日、来年度の本大会に向けたプレ大会の総合開会式に出席しました。本県での開催は2回目となり、来年の7月26日の総合開会式に続き、8月1日までの期間に、県内各地で部門ごとに開催されます。本市では、大曲市民会館を中心に、7月29・30日に放送部門が、8月1日に合唱部門が開催される予定です。全国から多くの高校生が参加しますので、温かくお迎えをしたいと考えております。

安全、安心については、感染症の拡大について、資料では学級閉鎖等なしとなっていましたが、本日報告がありまして、インフルエンザの休校により、1校で、来週の27日、28日の2日間、学年閉鎖をいたします。交通事故の方です

けれども、中学校2年生の女子が、帰宅の自転車で走行中、停車している車の後ろを通って向かい側に渡ろうとしたところ、反対車線を走行してきた車と衝突し、左足親指の骨折等により全治8週間の怪我を負ったものです。

女子生徒は横断歩道上を渡っていたんですけども、車の後ろから渡ろうとしたために相手方車両からの発見が遅れたようあります。現在、当該生徒は、松葉杖ではありますが、元気に通常通り登校しております。

以上で私からの報告を終わります。

次に、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきます。

まず、教育総務課長、お願ひします。

教育総務課長

それでは、2ページをご覧ください。

1番の「学校再編検討委員会」ですが、これは東部3地域それぞれで、学校・園のPTA会長や、地域協議会正副会長など地域組織の代表の方々、さらに学校長により構成されております。

3地域それぞれ2回の委員会を開催しており、学校規模適正化推進計画(素案)における統合する学校の組み合わせなど、計画の核となる部分について審議いただいております。

来月3回目を開催することとしておりますが、そこで市の諮問に対する答申案を確定し、提出する見込みとなっております。

教育総務課は、以上です。

伊藤教育長

次に、教育指導課長、お願ひします。

教育指導課長

教育指導課は8項目記載しております。このうち3点について御報告申し上げます。

1の「教育委員会訪問」につきましては、今月も委員の皆様から御協力をいただき、ありがとうございました。残すは5校となりました。引き続きお願ひいたします。

5の「大仙ふるさと博士育成事業市長表彰」でありますが、当日は、大仙ふるさと名誉博士34名、グローバルジュニアマイスター3名、読書通帳4名の小中学生合わせて計41名が老松市長から認定証をいただきました。

8の「就学児童就学時健康診断」につきましては、各小学校からの協力をいただき、予定どおり順調に実施されております。残すは2校であり、10月28日に太田東小学校が最後となります。

教育指導課からの報告は以上になります。

伊藤教育長

次に、施設管理課長、お願いします。

施設管理課長

施設管理課です。

はじめに1～3に記載の各工事につきましては、それぞれスムーズに進められ、計画どおり完成しております。現在施工中の他の工事につきましても、引き続き安全で円滑な施工に努めてまいります。

続いて、4の「クマ出没」への対策であります。

市内においても多数出没し、人身被害も発生していることから、現在、市では、学校周辺を中心とした注意喚起の広報巡回を行っていることに加え、各学校に爆竹や雷管等を配布したほか、頻繁に出没した協和小・中学校では、修練坂周辺の雑木を伐採し、見晴らしを良くするなどの対策を行っております。

また県から、緊急的にクマよけスプレーが全小中学校に各5本ずつ配布され、児童生徒が安心して通学できる環境づくりなどに活用していくこととしております。

現在も市内全域で、かつ学校付近においても多数の出没情報が寄せられており、警戒が必要な状況が続いております。各学校と連携を図りながら、状況に応じて対策を講じてまいります。

以上でございます。

伊藤教育長

次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長

学校給食総合センターでは4項目あげさせていただきましたが、1項目目の「学校給食の衛生管理等に関する調査研究」について、御説明いたします。

この事業は文部科学省が「学校給食衛生管理基準」等の趣旨の徹底を図るため、各県教育委員会の指導主事等の衛生管理に関する指導者を学校給食施設へ派遣し、衛生管理状況の調査を行うとともに衛生管理の徹底を図るための改善指導を行うもので、学校や共同調理場のうち毎年、4施設で実施されています。今年度は、大仙市学校給食総合センターが10月1日に訪問指導を受けております。

当日は給食調理開始からご観察いただき、観察後の協議会では清掃や在庫管理、調理を行う際の調理員の導線などマニュアルに沿った作業が徹底されているなど高評価をいただきました。先日、お送りいただいた報告書でも栄養教諭や調理員の危機意識が高く、作業も丁寧な打合せによっている。衛生管理体制も市全体で整備されているというものでしたが、日頃自分たちでは気が付かないリスクなどについてもご指摘、ご提案をいただきましたので、改善策を検討し、今後、学校とも連携しながら、さらに安全安心な給食提供に努めてまいります。

学校給食総合センターは、以上です。

伊藤教育長

次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

資料3ページをご覧願います。

生涯学習課の行事は、記載の13項目となります。そのうち4項目を御説明いたします。

はじめに、3番の大曲地域における「大仙市ふるさと探訪楽園ツアー」を10月3日に行っております。当日は晴天に恵まれ市民20人参加のもと、「はなび・アム」施設見学のほか、丸子橋橋上公園にある「正岡子規来訪130周年記念句碑」や「お宿Onn大曲の花火」の施設及び打ち上げ会場を見学いたしました。参加者からは、改めて大曲地域の魅力を知ることができて良かったという感謝のお言葉をたくさんいただいております。

次に、7番の「秋田県社会教育主事等研修会（兼）県南社会教育主事協議会第2回研修会」ですが、今年度は大仙市での開催ということで、大綱交流館を会場に37人出席のもと開催しております。研修会では午前中は西仙北の地域学校協働活動「大綱米プロジェクト」の取組内容について大綱交流館遠藤館長に御紹介いただき、その後、刈和野大綱引保存会の今野会長に「刈和野大綱引き」の歴史と魅力について動画も交えながら御講演をいただきました。

また、午後からは障がい者の生涯学習推進を目的として、NPO法人障がい者自立生活センター「ほっと大仙」の奈良克久理事長をお迎えし、就労系事業所における生涯学習につながる取組についての事例発表をしていただき、その後、誰もが気軽に楽しめるスポーツ「ボッチャ」について、「ほっと大仙」利用者も参加して全員で体験活動をするなど、学びを深める良い機会となりました。

次に9番、市民が主役のまちづくり講座「第10回大仙アカデミー」ですが、10月15日、グランドパレス川端を会場に、オンライン参加32人を含め、約180人参加のもと開催しております。今回の講座はDX推進課と連携し開催いたしました。講師にはデジタル庁オープンデータ伝道師を務める武藏大学社会学部メディア社会学科教授の庄司昌彦氏をお迎えし、デジタル技術の活用による市民の利便性向上や業務効率化はもとより、地域の魅力や強みをデジタル技術と組み合わせながら、大仙市の新たな価値を創出するための示唆に富んだお話をいただきました。

最後に5番の「秋の稔りフェア」ですが、10月18日、19日の2日間、大曲ヒカリオイベント広場をメイン会場に開催されました。私ども生涯学習課は、ヒカリオイベント広場で開催される「ヒカリオ☆ミライステージ」を毎年担当しております。当日は、地域の郷土芸能やダンスパフォーマンス、DJプレイ、ミニライブなどのほか、今年のメインイベントとして、「ヒカリオ

「プロレスこども祭り」を開催しております。子どもとレスラーのふれあい教室や、大仙市出身の総合格闘家小山央さんも出場しての迫力ある試合を多くの方々に生観戦していただき、大仙市の明るい未来にむけ、元気と勇気いただいております。

生涯学習課からは、以上でございます。

伊藤教育長

次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長

総合図書館です。総合図書館では4項目記載しておりますが、2項目について説明いたします。

2項目目の10月17日の「県立図書館からの図書館訪問」ですが、当日は県立図書館から資料に基づいた事業の説明と大曲図書館からは令和6年度の取組や令和7年度事業について説明を行っております。事前アンケートについての回答のほか図書館の問題や課題などについて意見交換を行い、図書館運営に関する情報を共有することができました。

4項目目の「秋田をまなぶシリーズ2025 第3回」は明日13時30分からはなび・アムを会場に「最近の秋田県における災害について」をテーマに講座が開催されます。各地域で催し物が開催され忙しい時期かとは思いますが御都合がつきましたら、ぜひ御参加願います。

総合図書館からは、以上です。

伊藤教育長

次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長

総合市民会館からは4項目記載しております。

1番につきまして、お手元に「大仙市音楽祭2025」の両面チラシを配布させていただいております。11月8日（土）は午後6時より、トルヴェール・クワルテットwith小柳美奈子による「プレミアムコンサート」を、11月10日（日）は午前10時半より「0歳からのコンサート」を大曲市民会館大ホールにて開催いたします。この機会にぜひ御鑑賞くださいますようお願いいたします。

総合市民会館からは以上です。

伊藤教育長

次に、花館公民館長、お願いします。

花館公民館長

花館公民館は、6項目を記載しております。

1番になります。

各地区で、地域まつりを開催し、ステージ発表や作品展示などを行い、たくさんの方から楽しんでいただいております。

10月4日の「大川西根ウエストフェスタ」では、保育園・小学校・中学校の歌や音楽のほか、支援学校による太鼓の演奏、12日の「四ツ屋まつり」では、雨の中ではありましたが小学校から公民館まで、児童が灯籠を引き練り歩き、フィナーレでは地元業者による花火の打ち上げ、19日の「藤木地区コミュニティまつり」では、地域の食材を使った納豆汁の提供や、餅つきなどを行っております。

明後日26日の「角間川町秋まつり」では、大曲農業高校太田分校郷土芸能部の演芸発表のほか、NHKのど自慢チャンピオン大会優秀賞の須田さんによる歌謡ショーを予定しております。

花館公民館は以上です。

伊藤教育長

次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長

資料4ページを御覧ください。

神岡中央公民館は7項目記載しておりますが、3の「令和7年度神岡地域子育て講座」について説明いたします。

10月8日に行われた神岡小学校の就学児健診時に、新入学児の保護者を対象とした「子育て講座」を実施し、南教育事務所社会教育アドバイザーの沢村先生よりお話をいただきました。

講師からは、子供の目線で考えることが大事であることや、コミュニケーションは心を伝えることなどをお話しいただき、保護者の皆さんも大変参考になった様子でした。

神岡中央公民館からは以上です。

伊藤教育長

次に、大綱交流館長、お願いします。

大綱交流館長

大綱交流館では、5つの項目を記載しておりますが、項番5の「にしせんぼく文化祭」について御説明いたします。

「にしせんぼく文化祭」は、10月25日、26日の2日間開催予定でございます。

作品展示では西仙北地域の幼保、小中学校、老人福祉施設や一般の方など幅広い年代の展示があり、26日の芸能発表では大仙市芸術文化協会西仙北支部をはじめ西仙北あおぞらこども園の年長組園児、西仙北中学校吹奏楽部などが出演する予定です。

飲食ブースでは、地元商工会や地場産野菜の出店、キッチンカーなどが出店しますので、御都合がつく場合は、是非、お越しいただければと思います。

大綱交流館の説明は以上でございます。

伊藤教育長

次に、中仙公民館長、お願ひします。

中仙公民館長

中仙公民館は、記載の2項目のとおりです。

2番の「中仙市民会館避難訓練」を、10月14日ドンパルにおいて21人参加で実施しております。

毎年実施している避難訓練ですが、消防署員立会いのもと、展示ホールから出火の想定で、初期消火、消防への通報、避難誘導等の訓練を実施し、最後に消火器での消火訓練を行っております。

消防署員からの講評では、「人命が第一なので、探索しきれない場合は、消防署員に未探索箇所を伝えることや大きな声での誘導を心掛けることを指摘されております。

中仙公民館は以上です。

伊藤教育長

次の協和公民館長、お願ひします。

協和公民館長

協和公民館では、14項目記載してございます。

4項目目の「地域学校合同祭」と5項目目の「協和中学校50周年式典」を同時に行いました。

「地域学校合同祭」については、2回目の合同開催でしたが、今年度も、皆様から好評をいただいております。また、来年度の令和8年10月3日と4日の合同開催に向けて、学校と協議しながら新たに計画しております。

10項目目の「JR駅からハイキング」でございますが、こちらの方は熊が多発しているために中止しております。

協和公民館からは以上です。

伊藤教育長

次に、南外公民館長、お願ひします。

南外公民館長

南外公民館は7項目記載しております。

6番の「なんがい地域祭」は、明後日26日（日）に南外コミュニティセンターを主会場に公民館や南外支所駐車場、車庫など周辺一帯を利用して開催する予定としております。昨年に引き続き、南外中学校の2年生が特別ブースで「南外ミニさいかい市」というお店を開いて、スーパー「南外さいかい市」の手作りクッキーなどを販売いたします。また、大仙市国際交流協会主催の国際フェスティバルも同時開催いたします。在住外国人と地域の方の交流の場となり、世界の多様な文化に触れていただければと思います。

南外公民館は以上です。

伊藤教育長

次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長

仙北公民館は7項目あげております。

4つ目の「史跡の里の秋まつり」ですが、先週の18、19日に実施いたしました。芸文協仙北支部の方々の日ごろの活動の成果を、作品展示やステージ発表という形で行いました。加えて、横堀小学校器楽部、仙北中学校吹奏楽部にも出演していただきました。仙北中吹奏楽部においては、部活動の地域移行も見据えたような動きで、地域の吹奏楽団とコラボする場面もありました。

また、学校と地域の協働活動の情報を発信するコーナーでは、地域の方々が興味深く見ている姿などがありました。さらに、仙北村・仙北町時代の公民館事業や成人式の写真を集め、一部屋いっぱいに展示し、昭和の時代へタイムスリップする企画で懐かしんでいただいたところです。

外では、消防や警察・地元企業の協力をもらい、はしご車・パトカー・白バイ・除雪車の「はたらく車」の展示、キッズ縁日、キッチンカーなどのわくわくマーケット、ソラーレを開放するなど、たくさんのお催しもので楽しんでもらいました。両日で、およそ2,300人の方から御来場いただいております。

仙北公民館は以上です。

伊藤教育長

最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長

太田公民館は、8項目掲載しております。

7番、やきもの講座ですが、今年度は、10名が参加し、おおた陶芸同好会の黒澤一紀さんが講師となり開催されます。他3名がボランティア、全部で3回

行われる予定で、1回目が10月19日、講師の説明を受けた後、参加者が自分で皿やカップなどを成形しました。参加者は、真剣な表情で成形していました。

太田公民館からはもう一つお知らせがあります。

皆様にお渡ししておりますカラーのチラシです。「現代に残る鈴木空如模写絵を未来へ」ということで「クラウドファンディング」第二弾についてあります。

こちらは11月の定例記者会見で発表しますが、担当は文化財課です。太田公民館も関連がありますので、本日、教育委員の皆様にPRさせていただきます。

太田地域出身の鈴木空如が、法隆寺金堂の火災前に描いた「法隆寺金堂壁画模写」は、今は失われてしまった当時の色を見ることができる貴重な文化財です。

この模写絵を表装し未来に伝えるためにクラウドファンディングを通じて資金を募り、全国にPRし、作品の保存継承をしていくものであります。

募集期間は10月20日から12月19日まで、すでに始まっております。裏面になりますが、寄附のコースはAからGまであります。インターネットでの寄附また通常の振込も可能です。振込での寄附の方は「ご寄附方法2」を御覧願います。

目標金額は第一目標金額として200万円、最終的には350万円を目指しています。

昨年度、第一弾として実施しましたが、最終的に147名の方から356万円の支援をいただいております。

皆様からの御協力をよろしくお願ひいたします。以上です。

伊藤教育長

ありがとうございました。以上、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきました。

ただいまの報告につきまして、委員の皆様からご質問等ございましたら、お願いいたします。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。次に、次第の4番、その他に入らせていただきます。

11月の定例記者会見で発表する事業について、生涯学習課、総合市民会館、神岡中央公民館から説明をさせていただきます。はじめに、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

11月の定例記者会見で発表する事業について御説明します。

別に配布の「資料ナンバー2」をご覧ください。

生涯学習課所管分として2事業となります。はじめに1ページとなります。

「第42回東北将棋大会並びに第20回大仙市民交流将棋大会」についてであります。この大会は、伝統文化である将棋に対する市民の意識向上と普及拡大を図る事を目的に毎年開催しているものであります。今年度は、11月3日（月）午前10時から大曲交流センターを会場に開催されます。

当日は、階級毎の一般参加に加えて、県内外のアマチュアの実力者を招いて名人戦を行うほか、今回は大仙市民交流将棋大会が20回という節目の年でありますので、資料に記載のとおり日本将棋連盟所属と日本女子プロ将棋協会所属のプロ棋士4名をお迎えし、指導対局などを行なながら大会を盛り上げていただく予定としております。

次のページとなります。当日は大会に併せ「大仙・美郷・仙北小学生将棋対抗戦」も開催されるほか、大会前日の2日（日）には前日祭イベントとして「将棋指導講習会」も開催し、プロ棋士の方々には将棋のご指導をしていただく予定であります。大会の詳細は本日お手元に配布のチラシにも記載しておりますので、後ほど御覧願います。

次に、3ページを御覧願います。

大仙の魅力再発見「大仙市ふるさと探訪楽園ツアー」について御説明いたします。今回は11月に開催される仙北・中仙両地域のコラボツアーとなります。ツアーの詳細は資料団体を御覧願います。

日時は令和7年11月20日（木）午前9時45分から午後4時まで、内容は、健幸をはかる「タニタ秋田工場」と秀でて良い酒「秀吉」の酒蔵実感ツアーとなります。行程（コース）は資料に記載のとおりであります。定員は市内在住の方15人で参加費は昼食代と酒蔵見学代合わせて1,400円を参加者に御負担いただくこととなります。

申込期間は11月5日（水）から14日まで、申し込み先は中仙公民館となっております。今年度の「大仙市ふるさと探訪楽園ツアー」最後のメニューとなります。今回は1日で仙北と中仙2地域の魅力を存分に知っていただける内容となっておりますので、是非多くの市民の皆様に参加していただけたらと思います。

生涯学習課からは以上となります。

伊藤教育長

続いて、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長

続きまして、総合市民会館からは、先ほども配布チラシにて申し上げましたが「大仙市音楽祭2025」について説明させていただきます。

「みんなでつくる・みんなで楽しむ・みんなの音楽祭」をテーマに、音楽を通

して人があふれるまちづくりを目指す「大仙市音楽祭2025」を11月8日、9日、12月7日に大曲市民会館を会場に開催いたします。

今年で7回目となる大仙市音楽祭は、0歳から大人まで多くの市民が参加・交流できる市民が主役の音楽の祭典となっております。

コンセプトであります「まちづくり」「ひとづくり」「きずなづくり」に沿った楽しく親しみをもてるコンサートを企画しております。

今回は、トルヴェール・クワルテットによるサクソフォン四重奏with小柳美奈子さんのピアノによるクラシックを中心に、質の高いコンサートをお届けしたいと考えております。

囲み内につきましては記載の通りですが、12月7日には「第10回大いなる秋田大演奏会」を午後1時30分より開催いたします。入場無料ですので、お気軽にご鑑賞くださいますよう、重ねてお願ひいたします。

説明は以上でございます。

伊藤教育長

続いて、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長

神岡中央公民館からは、「第15回秋田飴売り節全国大会」について御説明いたします。

資料ナンバー1の5ページをご覧ください。

第15回秋田飴売り節全国大会を11月23日（日）神岡農村環境改善センターを会場に開催します。今年も県内外から集まった民謡愛好家に素晴らしい歌声を披露していただきます。秋田飴売り節の継承・普及のために大いに盛り上げていきたいと思っております。

詳細については囲みの中となります。

今年の出場者は一般の部が59人、年少の部が8人の計67人です。最遠方からのエントリーは兵庫県の方です。また、最年長は92歳、最年少は8歳と幅広い年代の方から出場いただくこととなっております。

昨年度の優勝者に特別ゲストとして出演いただくほか、神岡小児童によるよきこい踊りのアトラクションなども予定しておりますので、ぜひ多くの方に御来場いただきたいと思います。

説明は以上となります。

伊藤教育長

ただいまの説明について、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。

それでは、その他、この機会に委員の皆様から何かございませんでしょうか。

伊藤勝良委員

高校での事例ですが、物価高騰で修学旅行の親御さんの負担が大きくなっているようで、行き先や日程等を変えたりしている事例があるというのをお聞きしたのですが、大仙市の小中学校でそういった事例や課題等がありましたら教えていただければと思います。

教育指導課長

大仙市の小中学校では、旅行の行き先とか料金について、大きく変更しているという情報は、これまでこちらの方には入っておりません。

伊藤教育長

基本的には、小学校が1泊2日で仙台方面、中学校が2泊3日で東京周辺というのがほとんどの学校です。

他にございませんか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいですか。

それでは、教育総務課長から次回の日程等についてお願ひします。

教育総務課長

次回日程の前に、1件連絡事項です。

委員の皆様には、来月4日に当市を会場として開催される「大仙・仙北・美郷教育委員会連絡会」について御案内しておりますが、総勢33名の参加をいただいております。

当日は、午後1時30分から会場で受付を行いますので、よろしくお願ひいたします。

そして次回定例会ですが、11月26日（水）午後3時30分から、こちら大会議室で開催いたしますので、御都合方よろしくお願ひいたします。なお、本日同様にテレビ会議といたしますので、各館長は御承知おき願います。

以上です。

伊藤教育長

次回定例会は、11月26日（水）午後3時30分から、ここ大会議室にて開催とのことです。皆様、よろしいでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

では、次回定例会はそのように予定いたします。

なお、この後ここで「協議会」を行いますので、委員の皆様と関係職員以外の方は御退場をお願いいたします。

本日の日程は全て終了いたしました。以上で、定例会を閉じます。

ありがとうございました。お疲れ様でした。